

日本大学 理工学部

交通システム工学科

DEPARTMENT OF
TRANSPORTATION
SYSTEMS ENGINEERING



日大理工

交通工学の パイオニアとして スマートな交通社会を 創ろう

交通システム工学科は、交通工学のパイオニアとして、快適で心豊かな社会の創出に貢献できる交通技術者の育成を目指し、1961年に誕生しました。自動車交通、鉄道、航空、海運など、交通にかかわる幅広い総合技術を教育・研究するわが国のパイオニア的存在の学科です。近年、特に情報通信技術を活用した高度道路交通システム（ITS）などに代表される交通システムに対する理解と応用力の要請を通じて、高度な研究と専門教育を行っています。



持続可能な交通社会を実現するための 技術と応用力を学び、地域、都市、 世界に羽ばたき活躍したい！

環境に優しく、持続可能な交通システムをマネジメントできる技術を身に付けます。交通工学と道路や軌道などの社会基盤を建設する技術を基本として、総合力のある交通技術者を目指します。

交通システム工学科の教育

本学科では、2つのコース（エンジニアリングコース、マネジメントコース）から自由に選択することができます。その中で、交通工学を網羅する「交通計画系」、環境や都市デザイン、空間情報などを学ぶ「交通環境・情報系」、交通・都市基盤などを学ぶ「交通基盤系」の講義が用意されています。

本学科は理工学部で唯一の日本技術者教育認定機構（JABEE）認定学科です（P12参照）。その特徴として卒業生全員が就職に役立つ技術士補（建設部門）の国家資格を取得することが可能です。さらに学生自身が自由な発想で地域の交通問題に取り組む社会貢献活動「未来博士工房（交通まちづくり工房）」などで、実践力を養っています（P13参照）。



研究・教育領域

交通計画系

未来の交通を都市やまちというキャンバスに描こう！

私たちの生活に欠かせない交通システムは、先人の技術者が『未来の交通』を思い計画されてきたものであり、私たちはその利便性を享受しています。私たちが次の未来を描くために必要な、道路、鉄道、物流などの交通システム全般の計画に関わる専門知識を習得するための教育と研究を行っています。さらには、自動運転、ICT など新たな情報通信技術にも力を入れています。

交通計画系では、活力ある国土・地域づくりのために交通をマネジメントし、道路上の安全性と円滑性を高めるための研究や、都市交通管理や地区交通計画、さらには海外の都市交通計画などから、人や物の移動をよりよくするための研究・教育を行っています。

Pick up! 研究紹介 ▶ 交通計画系の研究の一部を紹介します。

東日本大震災発災後の救援ヘリ等航空機の主な動き



アプリを核とした交通情報の統合



デジタルツイン技術を活かした未来の交通システムの模索



自然災害に強い空港づくりに貢献するために、東日本大震災(2011年)以降、災害と空港に関する研究を進めてきました。この研究は、災害時に救助救援活動の拠点となる空港の機能をいかに発揮することを目指したものです。

災害対応としての空港のあり方、空港管理者と救援救助活動を行う各機関、自治体や病院などの組織との連携の重要性、災害時運用の訓練の重要性などについて提言することもできました。

多くの新興国では都市鉄道などの公共交通は十分なネットワークを有しておらず、出発地から最寄り駅まで、到着駅から目的地までの交通手段を有機的に考えなければ、移動が難しい側面があります。そこで活躍することができるのが、スマートフォンアプリです。しかし、アプリを構築するだけでは意味がありません。交通情報を収集したり、既存の情報と統合したりしなければなりません。また、情報の提供の仕方等も工夫しなければなりません。研究プロジェクトにおいても、インドのアーメダバード市を対象に、マルチモーダルな交通情報の収集から提供に至るスマートフォンアプリの開発・提供を進めています。

将来、自動運転のバスといった新たな移動手段が当たり前の世の中になるでしょう。そういったまだ見ぬ交通システムを考える手法として、現実空間を3次元の仮想空間で再現するデジタルツインという技術が注目を集めています。実際の道路を撮影し、画像処理によって自動車の交通量や歩行者の数などのデータを抽出。そのデータに基づき道路状況をコンピューター上で再現することで、「もしも信号の変化が3秒早ければ自動車の流れはどう変わる?」と仮想の交通システムを検証できるのです。この技術はAIやビッグデータを活用した交通システムの模索にも役立てられ、スマート社会の実現に貢献しています。



プローブ情報システム、交通ビッグデータ、ミクロ交通シミュレーション、燃料消費量推計



都市交通管理、自転車通行路の計画、駐車場計画、ロジスティクス(物流計画)、交通安全対策



航空ネットワーク、空港計画・運用、公共交通(鉄道、バス、LRT)、ITS、TDM、交通ビッグデータ、観光交通



道路構造、交通事故、交通渋滞、交通シミュレーション、サービス水準、交通容量、ラウンドアバウト



交通容量、信号交差点、幹線道路、道路構造、交通シミュレーション



研究・教育領域

交通環境・情報系

ICT を活用した環境に優しい交通まちづくりを目指そう！

次世代型の交通まちづくりの実現に向けて、ICT（情報通信技術）などの先進技術を取り入れつつ、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた安心・安全で環境に優しい交通システムの構築が求められています。具体的には、次世代 ITS（高度道路交通システム）や、走行中の自動車が得る交通情報（プローブ情報）、自動運転技術などを活用しつつ、地球温暖化ガスや大気汚染物質などに配慮したスマートシティの実現に向けた先進技術に関する教育と研究を行っています。

交通環境・情報系では、公共交通や福祉交通、観光交通等の利便性向上に向けた検討、環境に配慮した交通インフラ整備の計画や評価、衛星測位システム（GNSS）やレーザ計測技術などで位置や形状を可視化する研究など、ICT を活用しながら人や物の移動環境を向上させるための研究・教育を行っています。

Pick up! 研究紹介

交通環境・情報系の研究の一部を紹介します。

中山間地域における実証実験



過疎地域における移動サービスを図る中山間地域のカーシェアリングを目指し、自動運転の実証実験を行っています。3次元デジタルマップとGPS情報を併用して、センサーラインがない狭い山

道においても対向車や歩行者を安全に回避する方法等、本格運行に向けた課題や有用性が明らかとなっています。

糸魚沢アーチカルバート



動物と自動車の事故は日本各地で起きており、とくに北海道では、エゾシカと自動車の衝突事故が毎年約2,000件あります。どのような場所でエゾシカとの事故が起きやすいのか、また動物が道

路を横断できるように造られた橋はどれぐらい利用されているのか、などについて研究を行っています。

スマートフォンをかざすと情報が転送される交通情報案内板



近年、わが国では高齢化が進むとともに、障がい者を含めたすべての人の社会参加の共存社会が求められています。現在、このような対策に多くのセンサを用いたセンシング技術やICT技術が活用

されています。例えば、ICT技術は日本の玄関口である空港において、来訪者に向けた情報提供などにも活用されています。



教授
伊東 英幸

博士（工学）
【交通環境計画・評価】

トランスポーターエコロジー、戦略的環境アセスメント、環境経済評価、ライフサイクルアセスメント



教授
江守 央

博士（工学）
【福祉交通・UD】

交通バリアフリー、歩行空間計測と計画、賑わいのみちづくり、歩行者情報・サイン計画、観光交通



教授
佐田 達典

博士（工学）
【空間情報工学・測量】

衛星測位、GPS、準天頂衛星、ICT施工、レーザスキャナ、道路空間計測、モバイルマッピング



准教授
李 勇鶴

博士（工学）
【空間情報工学・測量】

写真測量、レーザ測量、地理情報科学、画像解析、点群解析、3次元モデル構築



助教
菊池 浩紀

博士（工学）
【都市交通計画】

コンパクトシティ、持続可能な都市開発、低炭素都市、都市政策評価、システムダイナミクス



助手
末次 優花

博士（農学）
【環境計画】

景観生態学、森林生態学、生態工学、道路生態学、ロードキル（動物の交通事故）

MMS の機器構成 (Trimble MX8)



GPSをはじめとする衛星測位システム（GNSS）、レーザ計測装置などの先端的なセンサを用いて位置や形状を計測・解析・可視化する研究を行い、移動体の高精度測位、移動時の情報提供、交通空間

間の評価、交通施設の整備支援など交通・建設分野への応用を目指しています。



研究・教育領域

交通基盤系

新しい技術を融合した安全で便利な交通施設を考えよう！

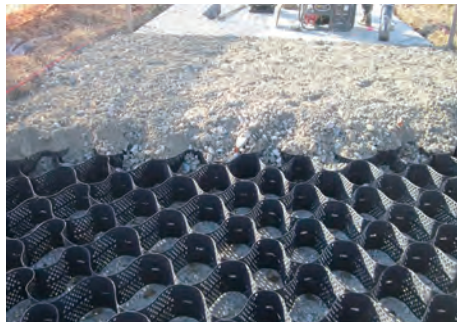
人や物の移動は、道路、鉄道や駅、空港、港など安全で利便性の高い交通施設が支えています。特に近年では、大深度での高速道路や鉄道の建設が進められ、老朽化した橋の点検や架け替え、災害への種々の備えなどは高度で新しい技術が必要となっています。

私たちは、このような交通施設を『設計・建設し管理する』ために必要な専門知識の修得に向けた教育、新たな技術の開発を目指した研究を行っています。

交通基盤系では、都市機能を維持していく上で、今日的な課題や社会的な要請を整理し、新しい制度設計の提案を行うなど、構造工学や材料工学、ならびに維持管理工学の視点から、交通施設に関連する地盤の力学的問題や、維持管理等について人や物の移動を確実に支える研究・教育を行っています。

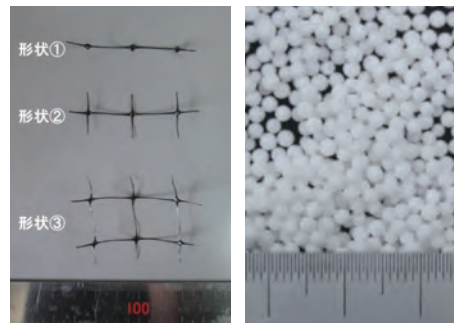
Pick up! 研究紹介 ▶ 交通基盤系の研究の一部を紹介します。

道路の下に敷設されたジオセル



施設を建設する際に用いられる「ジオセル」や「舗装用強化ジオテキスタイル」はジオシンセティックスという化学合成によって製造されている土木用安定資材の新材料です。強度や耐久性などの研究成果が実を結び、実用化のための研究を行なっています。

混入させている材料（左：短繊維、右：発泡ビーズ）



通常の地盤材料に新たな機能を付与させることを目的に、地盤材料以外の材料を混入させる場合があります。さまざまな機能を持った混合地盤材料の中には、副産物や廃棄物として発生したものを混入させる場合もあり、リサイクルの促進や環境負荷低減につながる材料として研究しています。



コンクリートの劣化要因の中で最も多くの構造物が割合を占める塩害劣化を対象に、交通荷重の繰り返しに伴い疲労損傷が生じたコンクリートの塩分浸透機構の解明を研究しています。



さまざまな人が利用する歩道。この歩道について「歩きやすい歩行者系舗装の性能指標」を明らかにする研究を行っています。この性能は、つまずきや滑りなどによる転倒事故を防ぐためにも重要な性能であり安全性に大きくかわります。



教授
谷口 望

博士（工学）
【構造工学・鉄道工学】

鋼構造、複合構造、設計工学、維持管理、環境対策



教授
峯岸 邦夫

博士（工学）
【交通地盤工学】

交通施設、道路、鉄道、空港、人工地盤材料、ジオシンセティックス、ジオフォーム、地盤の軽量化、リサイクル



准教授
齊藤 準平

博士（工学）
【コンクリート工学】

交通インフラ、コンクリート構造物、劣化・損傷度診断、耐荷性・耐久性評価、維持管理計画、非破壊検査



准教授
山中 光一

博士（工学）
【地盤工学・舗装工学】

路床土、舗装の構造設計、理論的設計方法、混合地盤材料、地盤の安定処理、軽量土、リサイクル

夢の 実現へ



1 年次

交通工学に関する 基礎知識を学ぶ

「交通総論」「交通施設計画概論」「都市計画」
「製図・デザイン基礎」など最適な交通システムを
創出するための基礎を学ぶ



1年次 交通まちづくりオリエンテーション

2 年次

2コースから選択でき 基礎と応用を学ぶ

エンジニアリングコース（道路工学、構造力学など）

総合的な交通技術を学ぶ

マネジメントコース（観光交通論、プロジェクトマネジメントなど）

交通に関わる経営や国際感覚を身につける



2年次 ユニバーサルデザインの演習

3 年次

専門的知識と実践力を修得する

「交通システムプロジェクト演習」「交通現象解析」

「交通環境解析」「ゼミナール」などから

専門的な知識や実践力を身につける



3年次 歩行空間のデザイン演習

4 年次

交通技術者として 必要な実力を身につける

蓄積した専門知識・技術を活かし「卒業研究」を進め、
交通技術者としての実力を養う



4年次 交通に関連する卒業研究

1 年次

2 年次

3 年次

4 年次

専門教育科目	必修	交通システム工学インセンティブ	(2)	測量学	(2)	交通システム工学キャリアデザイン	(1)	卒業研究	(6)				
		製図・デザイン基礎Ⅰ・Ⅱ	(各2)	測量実習	(4)	交通システム工学総合演習	(1)						
		数理統計学	(2)	オペレーションズ・リサーチ	(2)	ゼミナール	(2)						
		交通総論	(2)	交通流理論	(2)	交通システム計画	(2)			交通システムプロジェクト演習	(2)		
		交通施設計画概論	(2)	交通情報工学	(2)	情報処理	(1)			環境・技術者倫理	(2)		
		都市計画	(2)	交通環境工学	(2)	空間情報工学	(2)			交通現象解析	(2)	M 交通経済学	(2)
		基礎力学Ⅰ	(2)	基礎力学Ⅱ	(2)	水理学	(2)			交通環境解析	(2)	M 交通事業論	(2)
	選択必修			建設材料	(2)	地盤力学	(2)	M ロジスティクス概論	(2)				
				E 構造力学Ⅰ	(2)	E コンクリート構造	(2)	M 技術者のための会計学	(2)				
				E 構造力学演習	(1)	E 橋梁及び鋼構造演習	(2)	M 国際開発援助論	(2)				
				E 道路工学	(2)	E 地盤・基礎構造	(2)	M マーケティング・リサーチ	(2)				
				M 観光交通論	(2)								
				M プロジェクトマネジメント	(2)								
						E 鋼・コンクリート実験	(2)	E エンジニアリングコースは 3科目のうち2科目を修得					
	交通計画	選択			E 地盤材料実験	(2)							
					E 舗装材料実験	(2)							
							E 交通経済学	(2)	E 交通事業論	(2)			
					E 観光交通論	(2)	交通需要予測	(1)	交通安全	(2)			
					システム工学	(2)	交通生理・心理学	(2)	E ロジスティクス概論	(2)			
					交通制御	(2)							
	交通 環境・ 情報	選択			E 技術者のための会計学	(2)	E マーケティング・リサーチ	(2)					
					E プロジェクトマネジメント	(2)	E 国際開発援助論	(2)	都市衛生・防災	(2)			
					ユニバーサルデザイン	(2)	情報通信システム	(2)					
	交通基盤	選択			構造力学Ⅱ	(2)	M コンクリート構造	(2)	M 鋼・コンクリート実験	(2)			
					M 構造力学Ⅰ	(2)	M 橋梁及び鋼構造演習	(2)	M 地盤材料実験	(2)			
					M 構造力学演習	(1)	M 地盤・基礎構造	(2)	M 舗装材料実験	(2)			
					M 道路工学	(2)	舗装工学	(2)					
	共通	選択	国際コミュニケーション論Ⅰ	(2)	プログラミング	(2)							
					多変量解析	(2)							
					国際コミュニケーション論Ⅱ	(2)							

※上記「専門教育科目」のほか、「全学共通教育科目」、「教養教育科目」、「基礎教育科目」があります。
詳しくは学科ホームページを確認してください。

E エンジニアリングコース M マネジメントコース () 内の数字は単位数



特任教授
下川 澄雄
博士(工学)
【道路工学・交通工学】

サービス水準、交通容量、交通渋滞、道路ネットワーク、道路空間再編、幾何構造、ラウンドアバウト



特任教授
福田 敦
工学博士
【交通計画・国際開発】

交通システム計画、低炭素交通システム、交通プロジェクトの経済評価、国際協力事業



客員教授
岩坂 照之
博士(工学)
【プロジェクトマネジメント】

インキュベーション、オープンイノベーション、新規事業の評価および改善手法



客員教授
桑原 雅夫
Ph.D
【交通工学】

交通データ解析、交通ネットワーク解析、交通流解析、交通容量、信号制御

JABEE



日本大学理工学部で 唯一の JABEE（日本技術者教育認定機構）認定学科です

交通システム工学科の卒業生はすべて「技術士第一次試験」が免除になり、登録申請すれば技術士補（建設部門）の資格が取得できます。

交通システム工学科の教育プログラムは、一定の水準を満たしていると評価され、平成18年度に JABEE の認定を受け、平成23年度、26年度、29年度、令和6年度に継続審査を受けました。

技術士は、科学技術のエキスパート。科学技術に関して高度な応用能力を備えていると認定された国家資格です。プロジェクトの計画や管理、調査、分析、設計など専門的な仕事に为中心的な立場から携わることができ、コンサルタントとしても活躍できます。

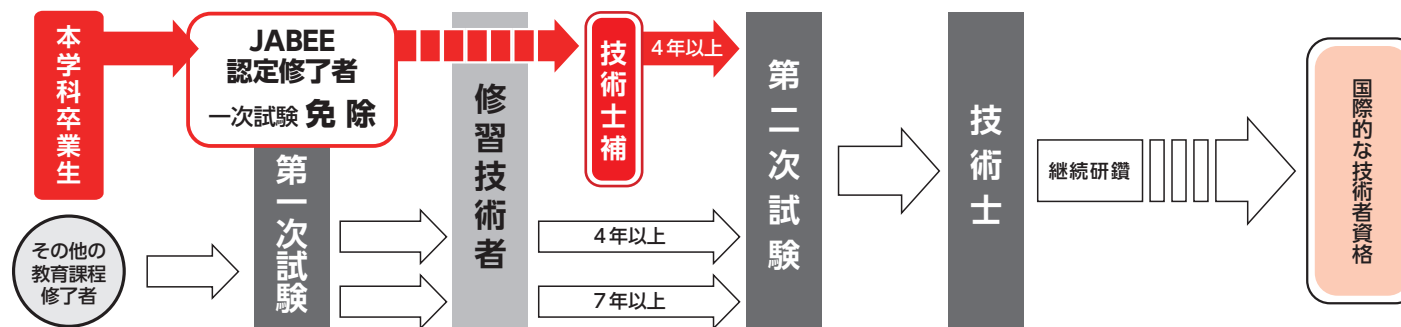
技術士として認定されるためには、第一次試験に合格し、技術士補に登録申請できる修習技術者となる必要があります。しかし JABEE に認定された教育プログラムを終了した交通システム工学科の卒業生は、この第一次試験が免除され、登録申請することで技術士補（建設部門）の資格が取得可能で非常に有利です。

JABEE（ジャビー） とは？

日本技術者教育認定機構（JABEE: Japan Accreditation Board for Engineering Education）は、技術者教育プログラムの審査・認定を行う団体です。高等教育機関で実施されている技術者教育が、社会の要求水準を満たしているかどうかを公平に評価し、認定を行っています。



登録申請することで技術士補（建設部門）の資格が取得できるため、就職に大変有利です！



技術士・技術士補

科学技術に関する分野において第三者（企業、国）から依頼されて計画、研究、設計、分析、試験、評価、またはこれらに関する指導する立場として、業務に従事できる技術者として認定される国家資格です。

受験資格

第一次試験：特になし。

第二次試験：受験する技術部門によって該当要件（業務経歴）があります。また、第一次試験の合格者であることが条件となります。

「未来博士工房」による実行力と想像力と提案力

交通まちづくり工房〈気づきと実践：社会還元と提案型の学生プロジェクト〉

交通まちづくり工房は、地域が抱えている交通問題を自治体や地域の方々などと一緒に考え、解決を図ろうとする取り組みで、現在5つのプロジェクトがあり、多くの学生が参加しています。このような実践的なプロジェクトによって、学生は新たな発見から（気づき）、社会還元を通して交通エンジニアに一步近づいていきます。またプロジェクトに参加し要件を満たせば、未来博士賞が学部長より授与されます！是非みなさんも一緒に参加してみましょう！！

交通安全プロジェクト

安心・安全のまちづくりへの貢献を目指して、学生のアイデアを提案しながら地域の方々との協働による活動を展開しています。

地域活性化プロジェクト

本学科とゆかりのある都市や自治体の中心市街地や地域コミュニティの活性化を図るために、官民学協働型の公共交通改善の提案・整備を行っています。

国際まちづくりプロジェクト

海外の都市を対象に、交通を軸としたまちづくりの計画を、現地の大学生と共同で調査・分析を行い立案します。

鋼橋プロジェクト

学んだ構造に関する技術を生かして、鋼橋模型の架設や設計などを争う大会の JAPAN STEEL BRIGADE COMPETITION (JSBC) に出場するために、学生が自らデザインを行います。

コンクリートカヌープロジェクト

交通基盤に欠かせないコンクリートに関して、「土木系学生のコンクリートカヌー大会」を目指し手作りのカヌーを造り、出場する過程で、材料、形状、製作方法などを実践的に探究します。



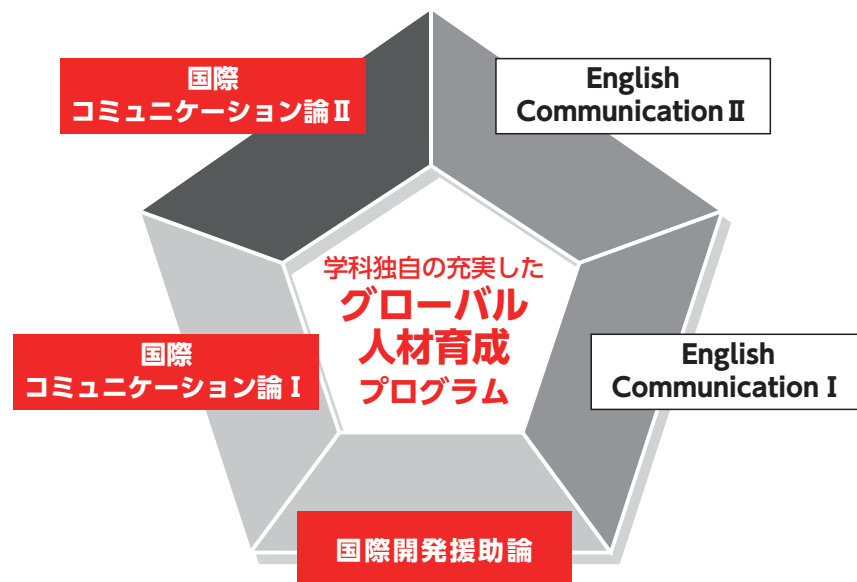


国際化へのこだわり

世界で活躍する交通スペシャリストへ

グローバル社会に対応できる学生を育成するために、
英語コミュニケーション・スキルを養う実践的な科目を複数設置しています。
これらの科目では、外国人数員（一般教育）と海外経験豊かな
専門教員（学科）が、共同で担当しています。





海外研修

過去の訪問先 ▼

アメリカ／韓国／台湾／北欧／
ドイツ／イタリア／フランス／
イギリス／オランダ



国際コミュニケーション論Ⅰ

海外で交通に関連する業務を行うエンジニアとして最低限必要な、英語によるコミュニケーション能力を養うことを目標にしています。授業では、海外に赴任した交通技術者を想定し、履歴書の作成、自己紹介、図表を用いたプレゼンテーションなどを実践的に行っています。

国際コミュニケーション論Ⅱ

社会のグローバル化が進む中、異文化と国際協力の意義を理解し、英語によるコミュニケーションやプレゼンテーションの能力を身につけるために、海外の交通技術者と議論ができ、国際舞台で活躍できるための能力を養うことを目標にしています。ロールプレーによる電話の応対や、交通問題をテーマにするプレゼンテーションなどを行います。

国際開発援助論

これまでの国連や各国政府の開発援助の基本理念、実施体制、方法論などを理解するとともに、交通や環境問題などのメカニズムと、これらの問題を解決するための国際開発援助の仕組みを理論的に理解し、実践力を身につけます。

学術交流

過去の交流先 ▼

カリフォルニア大学（米国）
京畿大学（韓国）
交通技術大学（ベトナム）
交通通信大学（ベトナム）
チュラロンコン大学（タイ）
デ・ラ・サール大学（フィリピン）
ウィーン工科大学（オーストリア）



就職・資格へのこだわり

JABEE（日本技術者教育認定機構）認定学科

- 国際的に活躍できる技術者の育成
- 卒業生全員が登録申請すれば国家資格の技術士補（建設部門）の資格が取得できます。

目指せる資格 ★は国家資格

- 技術士・技術士補★（JABEE 認定学科のため卒業生全員が登録申請により技術士補（建設部門）の資格を取得可能）
 - 土木学会認定技術者資格
 - コンクリート技士・主任技士
 - 基本情報技術者★
 - 測量士・測量士補★
 - 宅地建物取引士★
 - 福祉住環境コーディネーター
 - 土木施工管理技士（1級・2級）★
 - 建築士（二級・木造建築士）★
- ※その他の様々な資格（TOEIC など）の取得に向けたサポートを授業で行います

目指せる職種・業界

- 国家公務員（技術）
- 地方公務員（技術）
- 公安委員会（技術）
- 道路・鉄道輸送業
- 運輸・物流業
- 電気・通信業
- 総合建設業
- 都市開発・不動産業
- コンサルタント業
（交通・都市・環境・情報・物流など）
- 研究者
- 教員

卒業生・学科によるサポート

- インターンシップ：就業体験を行う前に「ビジネスマナー講座」を開講し、3年次担任、就職担当、学科事務が就職に向けてサポート
- キャリアアップミーティング：本学科卒業の卒業生の協力のもと、業種・企業説明を実施
- キャリアアップ応援ミーティング：わだちの会（学科同窓会）による支援のもと、ブース形式で自分の希望する企業・業種の説明を実施
- 卒業生約8,000名が協力

教職課程

免許教科の種類および教科

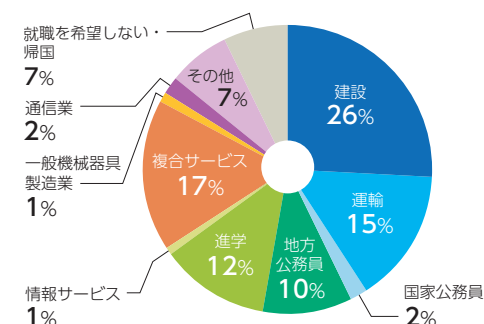
中学校一種

数学・理科・技術

高等学校一種

数学・理科・工業

進路の傾向



建設・住宅・不動産

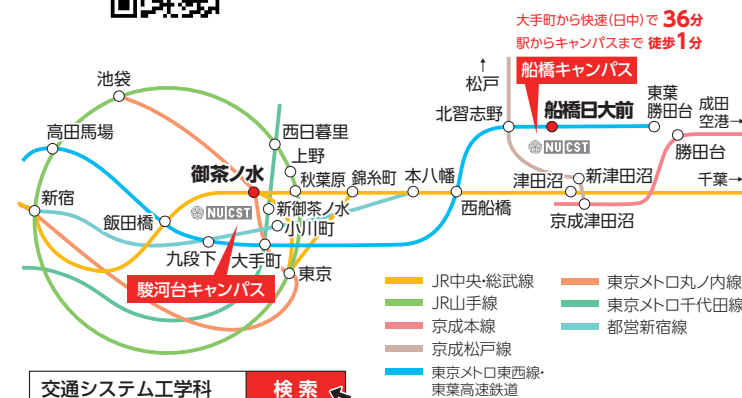
官公庁・団体

調査・コンサルタント

自動車・輸送用機器・電子・電機

その他の業種

 携帯電話からも
見れます



Foot steps

船橋キャンパスのみんな教えて～！

交通システム工学科に通う各学年の学生たちが、
キャンパスライフの様子を等身大の言葉で
語ってくれました。

1年生

オープンな雰囲気がお気に入り！

大学っていろんな友達と出会って、思い出を交換したり、新たな視点を得る場所
だと思うので、その意味で、この学科のオープンな雰囲気はとても気に入っています。
1年生で特に面白かった授業は、千葉県の「いすみ鉄道」沿線をどう盛り上げるかを
テーマにしたグループワークで、みんなで手分けして地元の方に話を聞いたり、
鉄道システムを調べたりして、提案をポスター発表の形にまとめたんです。
仲間とモノを作っていく過程が面白かったなー。



MESSAGE インターネットでは体験できないことを経験して、
楽しいエピソードをたくさん作ってください。
船橋キャンパスはとても広く、春は桜もキレイですよ！



2年生



気持ちイイ～船橋キャンパス

都心の大学へ通う友達が、お洒落カフェの写真を
SNSにアップしてるんです。残念ながらこの街には、
そういう雰囲気の店は見当たりません(笑)。
でも船橋キャンパスは緑が多く、歩くだけで
気持ちが良いですよ～。
コロナ禍前に行った、ヨーロッパの
海外研修が楽しかったですね。北欧の街並みが
素晴らしくて、友達や先輩との交流も
大切な思い出です。



MESSAGE 新入生は新しい環境や勉強に慣れるまで少し
時間が必要だし、不安な日もあると思います。
そんな時はきっと、友達が相談に乗ってくれると
思うんです。このキャンパスでぜひ、
励まし合える素敵な友達と出会ってくださいね！

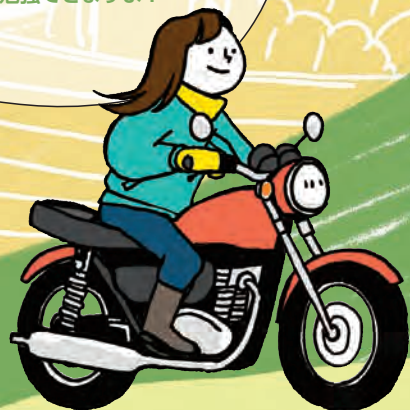
3年生

ワクワクする面白い授業がいっぱい

3年夏に予定されている合宿では「交通現象解析」という面白い授業があって、道の駅でインタビューしたり、ナンバープレートをチェックしたりして、集めた情報を読み解くのです。今は就活も始まり、インターンシップで設計図を描く経験をしたんです。振り返れば、1年では橋の設計図の模写をCADソフトで行う授業があり、3年では実際に橋の設計図を描いたので、学んだことがちゃんと身に付いているし、それが未来の仕事につながっているんだなって実感中です。



紙1枚から橋をつくる！
そんな面白い授業がいっぱいあるし、グループワークも多いので、友達と楽しく勉強できますよ！



4年間で夢を見つけました！

4年生

公務員を目指していましたが、就活を始めると、やりたいことへの迷いや力不足を実感…。そして情報系の研究室に入ったことをきっかけに、「交通×VR」という領域へ挑戦したい気持ちが強くなり、大学院進学を決めました。



この学科で学ぶ交通、自動車、鉄道、バスなどは日常的に目にするものなので、仕組みが理解しやすく、見るたびに復習できると思うので、楽しんで勉強してください。



大学院生

事故を未然に防ぐことが研究の意義

地盤系の研究室で、土を多く含む構造物である「補強土壁」の、安全な維持管理の構築に取り組んでいます。新規性のある研究に取り組むことで事故を未然に防ぎ、インフラを守ることが、私の研究意義だと思っています。



交通を幅広く学べるこの学科なら、4年間の学びを通して、やりたいことや夢がきっと見つかりますよ！

Foot steps

船橋キャンパスのみんな教えて～！



1年生

地図や路線図が大好きな小学生だった

僕が住む街に走っているモノレール。建設中は周りの道路や環境がどんどん整備されていって、交通の力や影響力はスゴイなって思ったんです。完成後は“街の景色”になって、アニメにも登場しているんですよ！小学生のころから地図や路線図が大好きで、高校時代に交通への興味が深まるなか、幅広く学べるこの学科と出会うことができました。



大学院生

幅広く学びやりたいことを見つけない！

中学2年生の時に東日本大震災を経験し、当たり前のように存在していた街やインフラが一瞬にして無くなったことに強い衝撃を受けました。そして将来は「インフラに関わる仕事に就きたい」という夢を抱いたのです。数年後、学科の説明会で道路や鉄道、港湾、空港といった幅広い領域が学べることを知り、この学科へ進学しました。



1年生 留学生

交通分野の技術が勉強したい

故郷の中国から日本へ来たとき、東京の交通システムの複雑さにびっくりしたんです。そして電車の効率性や利便性を日々体験するうちに、交通分野の技術が勉強したくなり、この学科に入学しました。



4年生

都市計画を学びたいと思った！

青森県出身で、ライブやイベントが多い東京に憧れがあったので、大学選びは関東圏がマスト。そして、興味があった「都市計画を学びたい」、「公務員を目指せる学科がいい」という希望を満たしたのが交通システム工学科でした。



1年生 留学生

日本と中国の交通の違いが知りたかった

カッコいい制服を着て、鉄道の会社で働くことが子どもの頃からの夢！日本の交通システムは中国より発達していると思っているので、その差がどこにあるのかを、この学科で学ぶために留学を決意しました。

交通や街づくりへ関心が広がる

駅を歩いていると外国人からホームの場所や出口を聞かれることが多く、駅案内のデザインや表示の視認性が気になるようになったんです。そこから交通や街づくり、空港の仕事へと興味が広がり、交通システムを取り巻くさまざまな領域が学べるこの学科へ進学しました。



2年生



3年生

交通に特化した勉強に興味をもった

漠然と進路を考えていた高校時代。そんな時、先生の紹介でこの学科の存在を知り、交通を専門的に勉強するのは面白そうだと思って入学を決めました。ワクワクする楽しそうな授業内容がいっぱいあったのも決め手のひとつですね。